

働く者の立場で政策制度、組織課題の前進を図り、将来に亘り安全で社会に信頼されるJRを築こう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848

FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849

1部20円 (但し組合費を含む)

●発行 松岡裕次 ●編集 中山耕介

facebook

JR連合

twitter

JR連合

JR連合総掛かりで 春季生活闘争・民主化闘争に取り組む

会長 松岡裕次



安全確立に向けた取り組み

昨年6月の第25回定期大会以降、JR関係職場において、幸いにも労災死亡事故は発生していない。労使のたゆまぬ努力の成果が見え始めているが、福知山線列車事故や羽越本線列車事故を決して忘れてはならない。労使が緊張感を持って、より実効性の高い安全対策を講ずることを改めて要請する。

一昨年に開催した「第9回安全シンポジウム」では、今後取り組むべき方向性を提起し、それを踏まえ、昨年7月に「安全指針(改訂版2016)」を発行した。「ヒュー

マンエラー」に起因した事象に着目し、「重大労災防止の行動指針ハンドブック」の改訂を行うとともに、ヒューマンエラーをテーマに本年10月に「第10回安全シンポジウム」を開催する。

■2017春季生活闘争

経団連は、「経労委報告」を公表し、「年収ベースでの賃金引き上げ」を求め、「定期昇給、ベア、賞与・一時金の増額、諸手当の見直し」が柱とし、ベアを柱の一つと明記する一方、過去3年のベアで基本給の土台が上がっている

と慎重姿勢も見せ、ベアを巡る連合との隔たりが鮮明となっている。

JR各社の業績は、堅調に推移し、第2四半期決算は、熊本地震や台風の影響により

明暗を分けたものの、JR東日本及びJR東海は昨年に続

展開することを要請する。

「安全指針(改訂版2016)」を発行した。「ヒュー

マンエラー」に起因した事象に着目し、「重大労災防止の行動指針ハンドブック」の改訂を行うとともに、ヒューマンエラーをテーマに本年10月に「第10回安全シンポジウム」を開催する。

経団連は、「経労委報告」を公表し、「年収ベースでの賃金引き上げ」を求め、「定期昇給、ベア、賞与・一時金の増額、諸手当の見直し」が柱とし、ベアを柱の一つと明記する一方、過去3年のベアで基本給の土台が上がっている

と慎重姿勢も見せ、ベアを巡る連合との隔たりが鮮明となっている。

JR各社の業績は、堅調に推移し、第2四半期決算は、熊本地震や台風の影響により

明暗を分けたものの、JR東日本及びJR東海は昨年に続

展開することを要請する。

「安全指針(改訂版2016)」を発行した。「ヒュー

マンエラー」に起因した事象に着目し、「重大労災防止の行動指針ハンドブック」の改訂を行うとともに、ヒューマンエラーをテーマに本年10月に「第10回安全シンポジウム」を開催する。

経団連は、「経労委報告」を公表し、「年収ベースでの賃金引き上げ」を求め、「定期昇給、ベア、賞与・一時金の増額、諸手当の見直し」が柱とし、ベアを柱の一つと明記する一方、過去3年のベアで基本給の土台が上がっている

き過去最高益を更新したほか、他のJRも比較的順調な経営動向で推移している。1月30日に発表された第3四半期決算においても、引き続き良好な経営を維持しており、JR各社は総じて労働条件を改善できうる経営体力を有している状況にある。

2017春季生活闘争についても、「中期労働政策ビジョン(2014~2018)」のもと、連合方針に則り、「純ベア3000円」を含め

た、「月例賃金総額6000円以上の引き上げ」を掲げ、賃金をはじめとする諸労働条件改善を図る総合生活改善闘争の取り組みを展開する。

そして、JR各社の好業績を支えるグループの「底上げ・底支え」「格差是正」にこだわった春季生活闘争を展開したい。加えて、協力会社にも

思いを馳せ、「底上げ・底支え」「格差是正」を図りたい。

JR各単組、グループ労組の全99単組が、いっそう連携を強化し、一致団結した闘いを展開することを要請する。

第29回中央委員会 2017春季生活闘争方針決定 ベア3,000円、月例賃金総額6,000円以上の 引き上げを要求



グループ・協力会社を含む
すべてのJR労働関係者の労働条件の引き上げをめざす

JR連合は、2月2日、北九州市内にて第29回中央委員会を開催した。

グループ全体でベアにこだわった月例賃金の引き上げと働き方改革を視野に入れた総合生活改善闘争の取り組みをJR連合総掛かりで取り組む2017春季生活闘争をはじめ、政策課題、組織課題など当面するJR連合の活動方針を決定した。

中央委員11人から方針を力強く補強する発言を受け、JR各単組、グループ労組が一丸となって運動を展開することを確認し合った。

地元単組である許斐副会長(JR九州労組執行委員長)の開会挨拶で始まり、澤田中央委員(JR東海ユニオン)を議長に選出し、議長が進行した。本委員

会は来賓として連合福岡の高島会長(JR九州労組出身)も激励に駆けつけていただいた。

冒頭、執行部を代表して挨拶に立った松岡裕次会長

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

の団結ガンバローで委員会を閉会した。

最重要課題である2017春季生活闘争については、中期労働政策ビジョン(2014~2018)の実現に向け、連合方針に則り、

「底上げ・底支え」「格差是正」にむけて2%程度以上の賃金引き上げをめざす方針を決定した。具体的には、JR各単組は、「月例賃金総額6000円以上

(そのうちベア3000円)を引き上げる」とし、グループ労組は、「定昇がある場合は、定昇の確保を前提に

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

人口減少や高齢化が急激に進行し、地方路線の利用は減少の一途を辿っている。JR産業はその社会的使命からも真摯に向き合わなければならない時期にきている。どうすれば地域と共に維持・発展しうのか。公共交通機関としての役割を發揮しうのか。

その一方で、JR連合発足の当時の緊張感は労使ともに薄れていっていると言わざるを得ない。今一度歴史を振り返り、先輩方の決意を共有化し、国鉄改革の影である、JRへの革マル浸透問題に対し、JR全体に健全で緊張感のある労働関係を構築するべく、総掛かりの民主化闘争を展開する。

JR東日本においては、労使が締結している「労使共同宣言」は形骸化しており、JR東日本、そしてJR北海道、JR貨物の経営者に対し、持続可能で、安全・安心のJRグループを築くために、パートナーとして相応しいのは一体何処なのか、改めて問いか

けていきたい。

重要政策課題解決の取り組み

は、安全確立、2017春季生活闘争、民主化闘争、政策課題などのJR連合が直面する諸課題について提起し、委員各位の真摯な議論を要請した。

上村良成総合組織・政策局長が第25回定期大会以降の活動経過を報告した後、河村滋喜事務局長より、2017春季生活闘争方針を中心とする当面の活動方針を提起した。

これに対して、出席した中央委員11人から活動方針を補強・肉付けする質疑があり、執行部各担当より答弁の後、河村事務局長が総括答弁を行った。スローガン案、2017春季生活闘

争をはじめとするすべての活動方針案などを満場一致で確認し、最後に松岡会長

定期大会で挨拶する岩佐政司委員長

女性役員どうしのつながりと グループを含めた女性組合役員育成を

高島中央委員(JR四国労組女性代表)

・大会後、JR連合執行部に特別執行委員としてJR西労組の白壁さんが任命されたことは女性役員にとっても大変うれしく心強い。

・ワーク・ライフ・バランスへの配慮のもと、JR連合の諮問機関である男女平等参画推進委員会にも各車組から男性役員だけでなく女性役員も一緒に出席できるように環境づくりをお願いしたい。

・年2回の女性役員意見交換会では女性役員同士のネットワークづくりにも取り組んでいる。女性組合役員として全国の仲間とのつながりを感じられ、新たな役員育成にも大変有意義である。会社との交渉にも女性役員の参画が少しでも増えるように努める。



高島中央委員(JR四国労組女性代表)

四国の鉄道ネットワーク維持のため 新幹線の必要性を内外に発信

幸中央委員(JR四国労組)

・春季生活闘争について、15年連続ベアがない状況で踏まえると今回も厳しい闘いになることは間違いないが、月例賃金の改善にこだわった闘いを展開する。これまで積み残しとなっていた改善を含めた正統と非正統労働者の不合理的待遇差の改善を求めていく。

・JR連合、加盟車組、関係議員の協力がある今年度末で期限切れとなるJR二島特例、承継特例の延長されることを閣議決定された。この支援措置によってJR四国は今後数年間、会社を維持することが可能。昨年の政策シンポジウムではJR四国の取り組みを全国の仲間にもアピールする絶好の機会であった。「チーム公共交通」と「チーム地域共創」の形成はJR四国労組においても重要なテーマである。JR連合と連携して鉄道特性を発揮することが極めて困難なエリアにおける公共交通のあり方、



・リニア中央新幹線計画について、将来にわたって経営基盤が確保され、組合員の雇用、労働条件の安定につながることを、従前より推進の立場をとってきた。財投の活用は、資金を長期固定、低金利で調達でき、大阪までの早期開業は経営基盤の確保だけでなく、日本の経済のさらなる発展にもつながる。この間、JR連合と連携し、議員に国会審議において主張を展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

・JR北海道問題をはじめとする地域公共交通のあり方、整備新幹線、バス事業の安全とJRバスの活性化の取り組みについても関係機関と連携し取り組みを図っていく。

・政治活動
抱える政策課題や組織課題の解決には、各方面との連携が求められている。引き続きJR国会議員懇談会、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム

の特別であるという認識のもと、妥当性や必要を内外に訴え、実現に向けて取り組んでいく。

・民主化闘争について、支援車組として民主化完遂にある。新幹線があるのは特別ではなく、新幹線がない

求方式を採用し、純ベア獲得に向けて力強く取り組む。さらには、人手不足や業務量の問題を改善し、不払い残業にも踏み込んで労働時間管理の適正化やワークライフの抜本的見直しを図るなど、時代に即した働き方を議論していく。

・労働災害発生の際は労働組合の結成されていない関係会社で発生している現状がある。関係会社へのヒアリングを引き続き実施し、人手不足による安全作業への支障など、関係会社の現状を理解し、労働災害を発生させない仕組みづくりにして議論していく。

・JR産業から非民主化勢力を一掃し、民主的労働運動を確立するべく、民主化支援車組として団結力をもつて一人でも多くの組織拡大に取り組んでいく。

と総括・検証を行い、次期計画の策定に提言を行う。2018年4月に廃止される三江線については、代替交通機関が整備されるまで、安全・安定輸送確保と地域にふさわしい持続可能な公共交通の形成に向けて積極的に関わっていく。

・2017春季生活闘争において、長時間労働の撲滅を進め、我々が求める同一労働同一賃金の実現に向けて議論を本格化させていく。賃金実態調査の結果、近年増加傾向にあった時間外労働が全体平均で前回より低下した。組合員の働き方改革や業務改善によって一定の歯止めがかかった。組合員が生産性を向上して生み

出した原資は、当然組合員に配分されるものである。この観点からもベアにこだわりグループ労組も含めエリア連合全体で気合いと根性で今春季生活闘争を闘っていく。

・JR会社が発足してからJR連合が結成されるまで、5年間のJR労働界の実態をもう一度振り返り、民主化の意義を噛みしめなければならない。今、組合員不在の運動を続けるJR東労組への反撃の絶好のチャンスである。政治、マスコミ、あらゆるものを活用して、民主化闘争のうねりをもう一度起こす運動を展開することを切に要望する。

持していくための方策についてJR連合及び関係議員の支援・協力を要請する。

・JR九州労組には過去に革マル派の潜り込みがあった。JR九州労組及びJR連合も革マル派との闘いの歴史の中で存在していると

言うても過言ではない。民主化闘争は革マル派を排除する闘いである。JR九州労組も民主化支援車組としてともに闘う決意である。・今春季生活闘争は株式上場後の初の闘いであり、中期労働政策ビジョンに基づく上場会社にあふさしい労働条件の確立に向けた基盤づくりにおいて重要な闘いである。スローガンの活用や署名活動に取り組み、各地本・支部において、職場環境改善闘争を展開するなど、組合員・家族総がかりで一体感のある春季生活闘争を構築し、グループ会社への波及と組織労働者の社会的使命を果たすよう全力を挙げて取り組んでいく。

事務局長総括答弁(要旨)

安全の確立

安全最優先で信頼されるJRを築かなければならない。『安全指針(改訂版2016)』の浸透を図りつつ、ヒューマンエラーに対する対策の強化、基本動作の伝承、潜在的なリスクの洗い出し、グループ会社・協力会社とのコミュニケーションの強化等、安全最優先の職場、企業風土づくりに努めてきた。また、真摯な労使協議を通じて、安全性向上に向けた取り組みも進めている。

引き続き、すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロを最重要テーマに掲げながら、安全確立の取り組みを展開していきたい。

2017春季生活闘争
JR関係労働者にとつてのあるべき働き方の実現を図るべく、賃金をもとよりあらゆる労働条件の改善を求める総合生活改善闘争に取り組むことを再度確認したい。更に、「底上げ・底支え」「格差是正」に向けて、JRグループ全体で生み出した付加価値の適正配分をめざし、グループ労組組合員の労働条件改善にこれまで以上に取り組みを強化すると共に、JRと資本関係のない協力会社等でも働く仲

間の労働条件の改善にも取り組むことをお願いしたい。JR連合は、連合の一員として、すべてのJR関係労働者の諸労働条件改善のために、そして社会運動としての春季生活闘争の一翼を担うために、JR各車組、グループを含む99車組81000人が一丸となつて2017春季生活闘争に向けて、勝利するよう力強い統一闘争を展開する。

民主化闘争・組織課題
JR発足30年、JR連合結成25年の節目の年を迎えるが、民主化闘争はまだまた道半ば。今一度歴史を振り返り、諸先輩方の民主化闘争への決意を共有しながら、JRへの革マル浸透問題などの解決に向けて取り組みを強化する。JR東日本、JR貨物、JR北海道会社における第一組合基軸

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

の労政には変化の兆しはない。民主化当該車組は、JR総連の良識ある組合員に対して働きかけを強化し、引き続き総掛かりでJR総連包囲網の運動を力強く展開していく。グループ労組の組織拡大については、グループ労組がないエリアも存在している他、組織化されているエリア連合でも労働組合の未結成のグループ会社が少ない存在する。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し



河村事務局長



議論に真剣に耳を傾ける、会場を埋めつくした傍聴者

終わる2019年度以降、九州の鉄道ネットワークを維



熊本地震への支援に感謝 将来の基盤とする上場後初の春闘を展開

芦原中央委員(JR九州労組)

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。

・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

北海道新幹線の開業、リニア中央新幹線の本格的工事開始と、JR産業は新たなステージに移り、JRの持続的な発展が国や地域の発展につながることは間違いなく、私たちの使命は国民や地域の足として日々安全を守り続け、国民の期待、組合員の期待に応えていかなければならない。

JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せ実現をめざし、JR連合総体の力量を今後も高め

失敗を二度と繰り返すことなく、健全な経営の確保を通じて、国民と地域の負託に応えていくため、政策活動を進めていく。

・被災組合員に対する救援カンパにご支援いただいた全国の仲間感謝したい。・株式上場後、相次ぎ発生した事象に対し、一部報道では上場による気の緩みや技術継承も含めた安全管理体制の指摘もされている。労働組合としてのチェック機能を発揮し、グループ会社や協力会社も含めた安全最優先の取り組みを展開し

質疑・討論

春季生活闘争、民主化闘争、政策課題など 各組織を代表して中央委員が活動方針を補強

【中央委員会発言要旨】

「イーストイノベーション」を掲げ J R 東日本の民主化をめざす

瀬戸特別中央委員（J R E ユニオン）

「イーストイノベーション」を合い言葉に運動を進め、大会以降、仙台で東労組から青年1人、横浜で未加入からシニア1名を組織拡大した。組織の存亡をかけて、関東、新潟、仙台で連携しながら取り組んでいる。東北地協においては貨物鉄産労と協力しJ R 連合の旗を守り連合や交運労協の活動に取り組んでいる。

・J R 発足30年・J R 連合結成25年の節目に、国鉄改



北海道でのユースラリーを通じて 仲間づくりの大切さと楽しさを

播磨中央委員（J R 東海ユニオン）

・青年・女性委員会は「Action Concept 2nd」を行動指針とし、各単組や地方協議会、エリア連合の絆を深め、より多

に強い不安を感じる。

・春季生活闘争について、統一ベア、月例賃金総額の引き上げ、夏季手当も同時要求していく方針。

・安全と事故防止について、会社側と組合側の技術継承や危機管理に関する認識が一致していない。相互に信頼できる関係をつくり本音の議論が必要である。J R 連合と連携し、現場の視点に立った事故防止の取り組みを強化していく。



・青年世代の組合への関心、意欲の低下に伴い、活動への参加者の固定化が顕著である。私たちが自身で単組活動を中心の魅力あふれる活動を行い、労働組合を通じて仲間づくりの大切さや楽しさを伝えていきたい。SNSを活用した情報発信も広く展開していきたい。

・J R 北労組青年・女性委員会の新採加入行動を全力で支援していく。北海道で開催する第22回ユースラリーにむけて、北海道地協の仲間と実行委員会を重ねている、一人でも多くの仲間づくりにつなげていく。

・J R 北労組青年・女性委員会の新採加入行動を全力で支援していく。北海道で開催する第22回ユースラリーにむけて、北海道地協の仲間と実行委員会を重ねている、一人でも多くの仲間づくりにつなげていく。



発言を求め積極的に議論に参加する、各単組を代表する中央委員

将来に希望の持てる労働条件の確立と 経営自立に向けた政策実現を

辻村中央委員（貨物鉄産労）

・安全について、上半期インシデントが1件、鉄道運転事故が2件発生した。また、速度超過や信号違反等、何らかの事象が日々起きている。姫路で「墜落」重大

・安全について、上半期インシデントが1件、鉄道運転事故が2件発生した。また、速度超過や信号違反等、何らかの事象が日々起きている。姫路で「墜落」重大



・安全について、上半期インシデントが1件、鉄道運転事故が2件発生した。また、速度超過や信号違反等、何らかの事象が日々起きている。姫路で「墜落」重大

北鉄労の異常性の発信と 北海道の交通体系のあり方を模索

昆中央委員（J R 北労組）

・度重なる事故、不祥事を未然に防げなかったのは、労働組合のチェック機能が十分に発揮できなかったと反省している。J R 北海道再生プランを策定して3年

・度重なる事故、不祥事を未然に防げなかったのは、労働組合のチェック機能が十分に発揮できなかったと反省している。J R 北海道再生プランを策定して3年



・度重なる事故、不祥事を未然に防げなかったのは、労働組合のチェック機能が十分に発揮できなかったと反省している。J R 北海道再生プランを策定して3年

委員会宣言

本日、私たちはステーションホテル小倉において、第29回中央委員会を開催し、安全の確立、2017春季生活闘争勝利、J R 連合総掛かりの民主化闘争の推進、政策課題の実現、そしてワークライフバランス社会実現に向けた働き方全般の見直しなどを柱とした、当面する活動方針を満場一致で決定した。安全・安定輸送を基礎に、労働組合としての社会的責任、そしてJ R 産業が果たすべき社会的役割を認識し、本中央委員会では真摯な討議のうえに、以下の重要課題について、組織を挙げて全力で取り組む決意を固め合った。

第一に、福知山線列車事故、羽越本線列車事故をはじめとする重大事故の反省と教訓を胸に刻み、事故を決して忘れず、何よりも安全を最優先する取り組みを継続する。第25回定期大会以降、重大インシデントや死亡労災事故は発生していないが、緊張感を持って労使で安全最優先の取り組みを継続する。

第二に、日本経済は本格的な回復軌道に入るとの正念場を迎えており、2017春季生活闘争は極めて重要な闘いとなる。J R 各社の収入動向も概して好調に推移している。J R 連合は、「中期労働政策ビジョン（2014～2018）」で掲げている、J R 関係労働者にとって相応しい労働条件等を念頭に、2017春季生活闘争についてもベースアップを軸とする「月例賃金の引き上げ」にこだわった総合生活改善闘争を展開する。そして、「底上げ・底支え」「格差是正」に向けて、グループ全体で生み出した付加価値の適正な分配をめざし、グループ会社の労働条件改善に注力するとともに、昨年同様、J R の職場とともに働く協力会社等の仲間の労働条件の改善を図る取り組みを展開する。さらには、仕事と育児・介護の両立支援、長時間労働の是正など働き方全般を見直す取り組みを進める。

第三に、人口減少や高齢化が進む地方の実態を真摯に受け止め、J R が将来に亘り希望の持てる産業であり続けられるよう、引き続き働く者の視点と中長期的視点に立脚した産業政策の前進に向けて取り組む。とりわけ、「チーム公共交通」そして「チーム地域共創」形成に向けて、他の交通モードや様々な関係者と連携を図りつつ、地域としっかり向き合い、地に足の着いた政策活動を推進する。さらには、軽油引取税をはじめとする次なる税制改正、整備新幹線に係る政策課題、あるいは多発する自然災害による鉄道被災からの復旧支援や防災・減災対策、軽井沢スキーバス事故対応に係る検証などの喫緊の課題解決にむけて精力的に取り組む。

第四に、国鉄改革の残滓とも言える、J R への革マル派浸透問題、非民主的労働運動との闘いである民主化闘争については、全てのJ R において、安全確立の基礎となる、健全で胸襟を開いた議論が出来る労使関係を構築すべく、今一度J R 連合総掛かりの取り組みを展開する。

4月にはJ R 発足30年、5月にはJ R 連合結成25周年を迎える。この間の先輩達の労苦と国民、利用者の理解と協力で感謝し、J R 連合全組合員が団結し、J R 産業、そしてJ R 連合運動のさらなる飛躍、発展に向けて力強く運動を展開する。以上、宣言する。

2017年2月2日

日本鉄道労働組合連合会
第29回中央委員会

運転者の離職防止のために 賃金・労働条件の改善を

西原中央委員（J R 西労組・自動車連絡会代表）

・中国ジェイアールバスにおいて乗務員の寝過ごしという事象が発生した。現在、運行管理体制の見直しや連絡体制、また健康管理のあり方も含めて、労使間でも議論している。自動車連絡会としても幹事会で情報共有してきた。一方、関越道高速バス事故、軽井沢スキーバス事故以降、貸切バス事業者に対しての規制強化が取り組まれてきた。次年度から50人増員して監査体制



でいく。

・J R 北労組自動車支部の民主化闘争を支援していく。人的支援も非常に大事だが、当該単組への財政支援もお願いしたい。

・社会的な景気とは相反し、バス事業は極めて厳しい環境である。労働条件と賃金は低位に置かれ、バス事業に魅力がない状況で、深刻さを増す運転者不足は喫緊の課題。現職の離職防止に

むけて、賃金、労働条件の改善はまさに喫緊の課題。3回目を迎えた賃金実態調査に基づき、相乗効果が図れるよう、統一要求で全単

組全力で春季生活闘争に取り組んでいく。

・バス組合員の60歳以降のJ R 私傷病共済継続加入の実現を要請する。

組全力で春季生活闘争に取り組んでいく。

・バス組合員の60歳以降のJ R 私傷病共済継続加入の実現を要請する。

組全力で春季生活闘争に取り組んでいく。

組全力で春季生活闘争に取り組んでいく。

組合員の頑張りによって良い結果となった。一朝一夕とはいかないが再生にむけた安全確立と信頼回復に全力で取り組む。

・民主化闘争の完遂は、組織拡大し、正常な労使関係で風通しのよい社風を確立して会社組織を再生させることにある。多くの北鉄労働組合員は横暴な労働組合運動に嫌気が差しているが、脱退するまでに至っていない。今は以前のような北鉄

・民主化闘争の完遂は、組織拡大し、正常な労使関係で風通しのよい社風を確立して会社組織を再生させることにある。多くの北鉄労働組合員は横暴な労働組合運動に嫌気が差しているが、脱退するまでに至っていない。今は以前のような北鉄

・民主化闘争の完遂は、組織拡大し、正常な労使関係で風通しのよい社風を確立して会社組織を再生させることにある。多くの北鉄労働組合員は横暴な労働組合運動に嫌気が差しているが、脱退するまでに至っていない。今は以前のような北鉄

J R グループを支える グループ労組の待遇改善を

後藤特別中央委員（J R 九州連合グループ労組代表）

・熊本地震の被災に対して、全国のJ R 連合の仲間から温かい支援や励ましに感謝申し上げたい。

・J R グループは鉄道事業をはじめとして関連する様々な事業を展開し、お客様にサービスを提供している。グループ会社で働く労働者もその一人として重大な責



・J R グループは鉄道事業をはじめとして関連する様々な事業を展開し、お客様にサービスを提供している。グループ会社で働く労働者もその一人として重大な責

模索していく。

・取り巻く環境は厳しいが、J R 連合方針に基づき春季生活闘争に取り組む。

模索していく。

・取り巻く環境は厳しいが、J R 連合方針に基づき春季生活闘争に取り組む。

模索していく。

模索していく。

労働条件の改善のため、J R 連合、J R グループ労組連絡会、エリア連合の活動の一層の充実が必要。

・J R グループ全ての単組が要求を行い何らかの形で会社と交渉を行った結果、38単組でベア獲得できた。ベア回答のない単組でも諸要求や一時金など多くの成果を得た。今春季生活闘争では、昨年以上の取り組みが必要である。グループ労組自身が力量を高めることは言うまでもないが、J R 連合と各エリア連合の指導と後押しをお願いする。

・J R グループ全ての単組が要求を行い何らかの形で会社と交渉を行った結果、38単組でベア獲得できた。ベア回答のない単組でも諸要求や一時金など多くの成果を得た。今春季生活闘争では、昨年以上の取り組みが必要である。グループ労組自身が力量を高めることは言うまでもないが、J R 連合と各エリア連合の指導と後押しをお願いする。

・J R グループ全ての単組が要求を行い何らかの形で会社と交渉を行った結果、38単組でベア獲得できた。ベア回答のない単組でも諸要求や一時金など多くの成果を得た。今春季生活闘争では、昨年以上の取り組みが必要である。グループ労組自身が力量を高めることは言うまでもないが、J R 連合と各エリア連合の指導と後押しをお願いする。

・J R グループ全ての単組が要求を行い何らかの形で会社と交渉を行った結果、38単組でベア獲得できた。ベア回答のない単組でも諸要求や一時金など多くの成果を得た。今春季生活闘争では、昨年以上の取り組みが必要である。グループ労組自身が力量を高めることは言うまでもないが、J R 連合と各エリア連合の指導と後押しをお願いする。

・J R グループ全ての単組が要求を行い何らかの形で会社と交渉を行った結果、38単組でベア獲得できた。ベア回答のない単組でも諸要求や一時金など多くの成果を得た。今春季生活闘争では、昨年以上の取り組みが必要である。グループ労組自身が力量を高めることは言うまでもないが、J R 連合と各エリア連合の指導と後押しをお願いする。